

射水市教育委員会 6 月定例会会議録

開会日時 令和 5 年 6 月 23 日（金） 開会 午後 3 時 00 分
閉会 午後 5 時 30 分

会議場所 市役所 3 階 会議室 302

出席委員

金谷教育長、眞岸委員、宮原委員、野上委員、村上委員

会議事件説明員

久々江事務局長、遠藤事務局次長（生涯学習・スポーツ課長）、六渡事務局次長、星野学校教育課長、高信教育センター所長、酒井学校教育課副主幹、高井学校教育課長補佐、田中生涯学習・スポーツ課長補佐、鳥本生涯学習・スポーツ課長補佐

傍聴人数 なし

会議の要旨

午後 3 時 00 分、教育長が開会を宣した。

- 1 会議録の承認
承認された。
- 2 事務局報告事項
 - (1) 令和 5 年 6 月市議会定例会開催状況について
事務局長が、資料 1 に基づき説明した。
- 3 協議事項（学校統合関係）
 - (1) 射水市立放生津小学校と射水市立新湊小学校の新設統合について
学校教育課長が、資料 2 に基づき説明し、了承された。
- 4 議案
 - (1) 射水市立放生津小学校・新湊小学校統合準備会設置要綱の制定について
学校教育課長が、資料 3 に基づき説明し、可決された。
 - (2) 指定管理者の名称等の変更について
事務局次長（生涯学習・スポーツ課長）が、資料 4 に基づき説明し、可決された。
- 5 協議事項（学校統合関係以外）
 - (1) 教育に関する事務の点検・評価報告書（案）について（令和 4 年度分）
事務局次長（生涯学習・スポーツ課長）及び学校教育課長が、資料 5 に基づき説明し、一部修正の上、意見聴取会に提出することが了承された。
- 6 各課等の連絡事項及び報告事項
 - (1) 令和 6 年射水市重点事業について
事務局次長（生涯学習・スポーツ課長）及び学校教育課長が、資料 6 に基づき説明した。
 - (2) 射水市教育振興基本計画策定懇話会委員の委嘱について
学校教育課長が、資料 7 に基づき説明した。

- (3) 第 5 回学校部活動在り方検討会 会議概要
学校教育課長が、資料 8 に基づき説明した。
- (4) 令和 5 年度射水市教育行政要覧について
学校教育課長が、資料 9 に基づき説明した。
- (5) スポーツ選手の育成に関する講演会
事務局次長（生涯学習・スポーツ課長）が、資料 1 0 に基づき説明した。
- (6) 「海ノ民話のまちプロジェクト 2 0 2 3」への協力について
事務局次長（生涯学習・スポーツ課長）が、資料 1 1 に基づき説明した。
- (7) 令和 5 年度教育研修会（オンライン研修）実施要項
教育センター所長が、資料 1 2 に基づき説明した。
- (8) 令和 5 年度射水市マイスター教員事業について
教育センター所長が、資料 1 3 に基づき説明した。
- (9) 令和 5 年度「学び高め合う集団づくり支援事業」について
教育センター所長が、資料 1 4 に基づき説明した。
- (10) 小学校におけるプログラミング教育推進事業
ドローンを活用したプログラミング体験教室
教育センター所長が、資料 1 5 に基づき説明した。
- (11) 教育委員会行事予定
学校教育課長補佐が、資料 1 6 に基づき説明した。

7 その他

- (1) 次回教育委員会の開催日時について
8 月 4 日（金）午前 9 時 3 0 分から 市庁舎 4 0 1 会議室

8 議 事

- (1) 令和 5 年 6 月市議会定例会開催状況について
 - [委 員] 代表質問の教職員の離職・長期休業について、他市と比べてどうなのか。
別の会議であるが、3 年未満の若い教員の離職の割合が多いことを聞いており、気になっている。
 - [教育長] 教員の離職についての他市との比較は、分からない。若い教員が大量採用されており、健康上の理由だけでなく、結婚による県外転出、他業種への転職、自己啓発等、様々な理由となっている。
- (2) 射水市立放生津小学校・新湊小学校統合準備会設置要綱の制定について
 - [委 員] 要綱第 3 条の統合準備会委員の中で、第 5 号に教育委員会が必要と認める者
とある。現在、具体的に想定されている方はいるのか。
 - [事務局] 現在、具体的に想定している方はいない。
- (3) 教育に関する事務の点検・評価報告書（案）について（令和 4 年度分）
（ページ順に記載）
 - [委 員] P5 （1）確かな学力の定着
I C T 環境の充実、デジタル化について記載がある。コロナ禍を経験しての
メリットだと感じている。一方で、子ども達の様子を見てみると、読み書きと
いったアナログでの取組部分も多く、学校でも大切にされているように感じる。
学力の基本となるアナログ部分も大切にしつつ、I C T を効果的に活用いただ
く二刀流での取組をお願いしたい。

- [委員] P6 (1) 確かな学力の定着
学力の向上の主な取組状況に、令和のとやま型教育推進校の指定について記載されている。子ども達の資質を育てる切り口となっている。その成果はどうなのか。
- [事務局] 令和のとやま型教育推進校の成果を追記する。
- [委員] 学校訪問研修は、教員一人ひとりの授業力向上につながる良い機会であるが専門的指導を受ける機会が少なくなっているように感じている。心配である。
- [教育長] 学校訪問研修における目的を明確にして取り組んでほしい旨、校長会にて伝えたい。
- [委員] 子ども達の様子を見ていると、鉛筆の持ち方、箸の持ち方なども心配である。三つ子の魂百までとの言葉があるが、小学校に入学する前の教育もしっかりしないといけない。
- [委員] P10 (2) 心身ともに健やかな子どもの育成
主な取組が ~ と多いが、WEBQUは、他市にない先進的な取組であり、食育は今ひとつと個々の取組の評価に差があるように感じる。一つひとつの取組を評価することが難しいのであれば、WEBQUのように、特に進んでいる箇所をしっかりと伝えるなど、メリハリのある分かりやすい説明をお願いしたい。
- [委員] P12 (2) 心身ともに健やかな子どもの育成
いじめの解消率、不登校児童生徒数の指標が改善されていないことが確認できる。射水市では様々な取組をされており、がんばっていると感じているが残念である。これだけの取組をしているのに、指標が改善しないのはなぜなのか。
- [教育長] 指標については、カウントする基準も関係しているように感じる。例えば、いじめの解消は、3か月の状況を確認した上での判断となる。令和4年度については、コロナ禍の制限が少しずつ緩和され、子ども同士の交流が深まり、年後半に認知が確認された場合、解消したとのカウントまでには至らないというケースもあるように思う。ただ、詳しく分析していかないといけない。
- [委員] 学校現場では、マイサポーター制度、気がかりポストなどの子ども達をサポートする校内体制が整っているが、コロナ禍によりPTA活動も停滞しており、保護者同士で相談し合える環境が少なくなっていると感じている。
- [委員] 保護者の価値観も様々である。家庭教育専門支援員の方々がパイプ役となっていたくこともお願いできればと思う。
- [委員] P27 (6) グローバルな人材育成のための基盤づくり
評価については、「概ね順調に進んでいる」とされているが、「順調に進んでいる」としてよいと思う。
- [委員] P38 (10) 家庭における教育の充実
家庭教育アドバイザーの用語解説を見直してほしい。
- [事務局] 確認の上、修正する。
- [委員] 家庭教育に関する講座・学習会の参加者数972名(令和4年度)は、指標説明欄にある3つの会の参加者数として理解してよいか。
- [事務局] そのとおりである。

午後5時30分、議事等が終了したので教育長が閉会を宣した。